

### 3. 東北自然歩道（長距離自然歩道）の整備状況

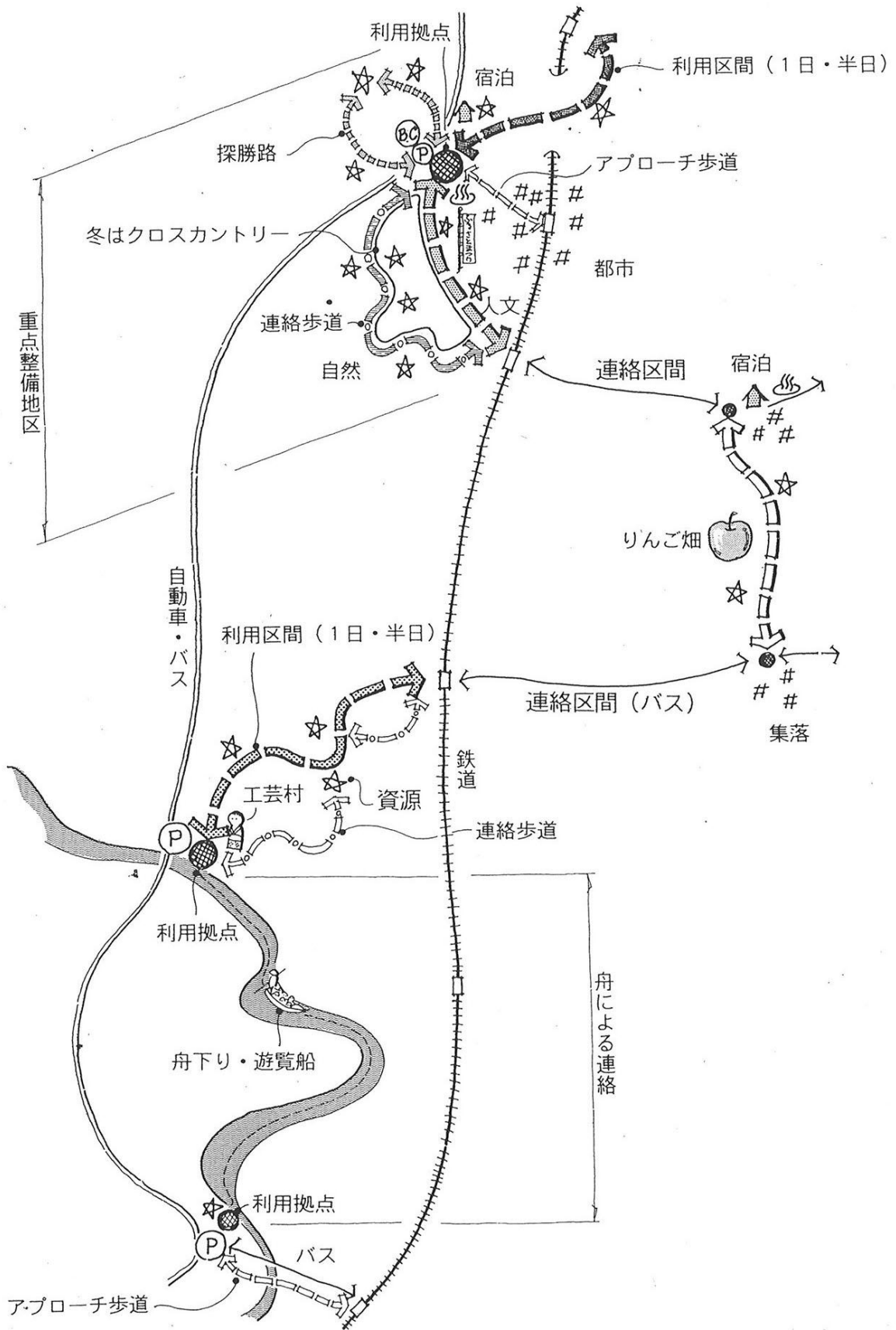
- 整備期間：平成2年度～8年度、路線延長：4,374 km
- 関係都道府県：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 東北自然歩道は「新・奥の細道」と呼ばれ、多くの人に四季を通じて手軽に楽しく、かつ安全に歩くことによって東北地方の豊かな自然、歴史、文化にふれ、健全な心身を育成するとともに自然保護に対する意識を高めるものとして整備された。
- 路線は、福島県白河市旗宿を起点とし、東北6県をめぐり福島県郡山市を終点とする229のコースと連絡コースから構成されている。
- 各コースは一日で歩くのに程良い距離に設定されており、公共の交通機関などで結びながら東北地方を一周するもの。
- 東北自然歩道は、1日コースを整備する重点整備方式を導入し、他はすべて連絡コースとした。その結果、全路線の半分以上が連絡コースとなり、歩道の連続性は希薄となった。また、利用上困難を伴う山岳地等は、国立・国定公園であっても回避したため、主として農村地域や山麓部を通過している。
- 平成2年度から整備され、年間利用者が最も多い自然歩道となっている。

	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	合計
距離(km)	911.8	699.9	643.1	785.5	749.3	584.8	4,374.4
利用者数 (H21,万人)	90.7	69.1	71.3	116.3	420.6	246.9	1,014.9

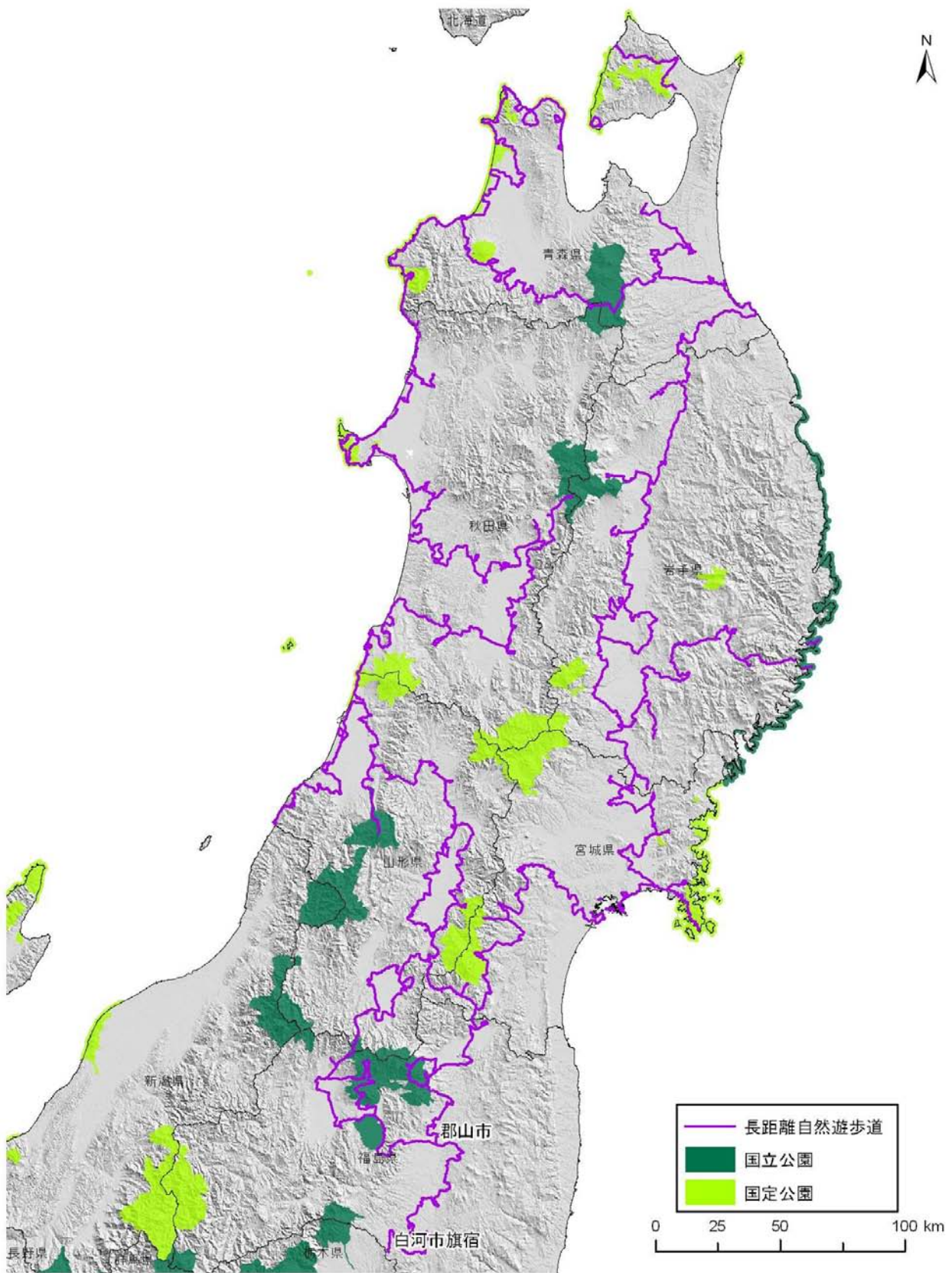
#### <幹線・枝線の考え方>

要素	単位	性格・役割	目安の数量	設定時の注意
幹線	1日コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の基本的単位で日帰り利用に対応するコース</li> <li>・利用上まとまりのある1つないし複数のテーマを持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枝線のない場合 標準 5～10 km 最長 15 km程度</li> <li>・枝線のある場合 標準 3～8 km 最長 12 km程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舟下りや遊覧船等が楽しめるコースも含め、多様な魅力性を有するコースとし変化に富んだテーマを設置する</li> </ul>
	連絡コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道としての適正や魅力に乏しく当面歩道としての整備を考えないコース</li> <li>・場合によっては歩くことも可能な区間であるが通常バス、鉄道等の代替交通機関を利用するコースである</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・極端に長い連絡コースの設定はさける</li> </ul>
枝線	アプローチ歩道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線の利用効率をあげるため、自然歩道と利用者の発地を結ぶアプローチのための歩道</li> <li>・利用者の発地として、居住地や公共輸送機関の駅などがあげられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総歩行距離の半分以上とする</li> <li>・一本は1～2 km程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い時間距離で快適な歩道となり得る場合に限った方が安全である</li> </ul>
	探勝路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然探勝路等、それ自身が自然を探勝する目的の歩道で、自然に対する理解を深めるために解説板やビジターセンター等の施設が整備されている歩道</li> <li>・幹線にあき足らない人のための歩道でもある</li> <li>・連絡する他の1日コース等とともに回遊動線を形成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> <li>・利用拠点を起終点とする場合は標準 3～8 km最長 12 km程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探勝路となり得る既存歩道が、幹線と交差する場合、あるいは近傍に存在する場合に限った方がよい</li> </ul>
	資源連絡歩道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線の近くに魅力のある自然、人文的資源がある場合に設ける歩道</li> <li>・連絡する他の1日コース等とともに回遊動線を形成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> <li>・標識による資源の指示だけでもよい</li> <li>・冬期クロスカントリーコース等として活用可能なようにするのも面白い</li> </ul>

<新奥の細道（東北自然歩道）の構成イメージ>



新・奥の細道（東北自然歩道）みちの構成イメージ  
出典：新奥の細道整備計画調査報告書（平成元年 3月）



東北自然歩道路線図（平成 19 年 1 月現在）